

一般社団法人 Nurse for Nurse

年間報告書

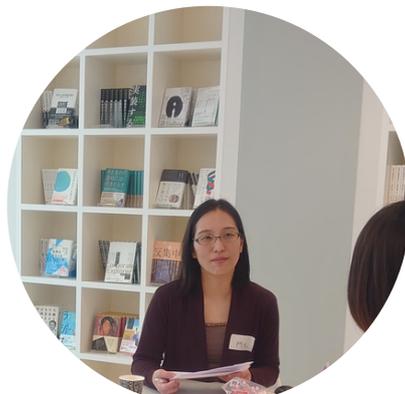


年間報告書 2022-2023 (第2期)



Nurse for Nurse
Connect and Discover

ご挨拶



いつもNurse for Nurseをご支援いただき ありがとうございます。

2021年9月の設立から2年、Nurse for Nurse (NfN) はお蔭様で2周年を迎えました。これまでの皆様のお力添えとご支援に心より感謝を申し上げます。

2期目のNfNは看護職に関する情報発信だけでなく、医療的ケア児当事者団体である特定非営利活動法人みかんぐみ様より業務委託を受け、「医療的ケア児・重症心身障害児のケアを担う看護職を増やす事業」にて社会課題解決に向けた一歩を踏み出しました。11月のウェビナーには200名以上のお申込みをいただき、期間限定で一般公開しましたアーカイブ動画は1,000回以上の視聴がありました。また、見学プログラムでは全国から参加者を募集し、4名の方に当事者ご家族のご自宅を訪問見学させていただきました。社会から看護職に寄せられる期待を感じるだけでなく、それに応えようとする看護職の強い姿勢も感じられる事業でした。

また、会員同士がつながりキャリア開発において助け合う場の一つとしてセミナーや交流会をオンラインにて実施しました。そして、4月には東京（恵比寿）にて初めての対面イベント、Meet Up in 東京を開催することができ、多くの看護職の方々に直接お会いすることができました。これからも様々な機会を通してNfNを多くの看護職に知っていただき、活動にご参加いただきながらつながりの輪を広げて参りたい所存です。

最後に、NfNでは「看護（職）への投資」をゴールに掲げていますが、来期も引き続きパラマウントベッド株式会社様に賛助会員としてご支援いただくことになりました。その他にも出版会を中心にNfNの活動を幅広く応援していただいております。この場をお借りして心より御礼申し上げます。今後も講演や学会発表などを通して社会への情報発信を続け、「看護職の活躍が社会を前進させる」ということを多くの皆様にご理解いただけるよう精進して参りたいと思います。

今後ともNfNを何卒よろしく願い申し上げます。

2023年9月

門元記子（代表理事）
二田水彩（理事）
川添高志（理事）

目でみるNfN*

NfNでは分野横断的に看護職同士がキャリア開発において助け合える持続可能なシステム構築を目指しています。

会員の生活／活動拠点、年齢層、男女比、関心領域を見ると、地域を超えて、世代を超えて、分野横断的につながる基盤ができつつあります。今後も様々な分野の看護職にお声がけしながら会員登録を呼びかけて参ります。

会員の生活／活動拠点	
国内	海外
関東・中部・四国・近畿・九州	ヨーロッパ・アジア・アメリカ
年齢層	
30-40代を中心に、50代・60代の登録もあり	
男女比	
1: 3	
関心領域	
看護管理・政策・国際看護・産業保健・保健行政・精神保健・がん看護・母子保健・老年看護・在宅看護・災害看護・学校保健・看護教育・急性期ケア・小児看護・公衆衛生・地域看護など	
賛助会員 (法人)	賛助会員 (個人)
1	3



Facebook
(2022年1月31日開設)
167 いいね!
276 フォロワー



Twitter
(2022年4月26日開設)
167 フォロワー
@NurseforNurse



ポッドキャスト
(2022年2月8日開設)
再生数 357
<https://anchor.fm/nursefornurse/>

*情報は9月8日現在

**NfNの「看護職」の定義は日本国の保健師・助産師・看護師免許保有者です。当法人の会員は「看護職」であることを条件としておりますが、海外の看護職資格を保有する方など、当法人が別に認めた者を会員として認めることがあります。

会員の声

看護師の活躍できる場がたくさんある事を知る事ができました。新しい情報を得られることもでき、普段会わない看護職とのゆるいつながりがあることに励まされます。

定期的に情報をお知らせくださり、その情報から刺激を受け、学びが多いです。

看護に関するトピック、情報が得られる。助産師以外の職種の活動を知る機会になる。

賛助会員 <法人・個人>



PARAMOUNT BED



働き方改革によって、看護師の働き方も今まさに大きく変わっていきようとしています。そのような中で、NfNが提供するサービスによって、日々奮闘している看護師の皆さまの成長、働きがい、キャリアの機会創出が実現されることを期待しています。

NfNのConnect and Discoverのコンセプトに賛同します。この活動が広くメディア等に取り上げられ、多くの方々に共感され、看護職に関わる人達にご活躍されますように。応援いたします。



コロナ禍を通じて、看護職の皆様のお陰で私たちの生活があることを実感しました。今日も明日も輝き続けたい看護職の背中を押してくれる-それがNurse for Nurseだと思えます。応援しています。

キャリア相談事業

NfNでは、2022年9月にキャリア相談事業を開始し、計10名の看護エキスパートをお迎えしました。キャリア相談は看護エキスパートの方々はもちろんですが、会員の方にも他の会員のキャリア相談に乗っていただくことができました。ご協力いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

NfNはこれからもConnect and Discoverというコンセプトのもと看護職同士がキャリア開発においてつながり、新たな発見ができることを目指し、キャリア相談事業を展開して参ります。



看護エキスパート



井倉一政

NPO法人三重ナースマネジメント協会理事長
トータルライフインベーションCEO
三重大学医学部附属病院臨床研究開発センター助教・データマネージャー



太田喜久子

日本赤十字看護大学
特任教授



大橋奈美

医療法人ハートフリーやすらぎ
常務理事兼統括管理責任者
一般社団法人日本訪問看護認定看護師協議会 代表理事

赤い羽根共同基金事業協力
エキスパート



木内昌子

一般社団法人MEPL (メープル)
代表理事

赤い羽根共同基金事業協力
エキスパート



北村千章

清泉女学院大学大学院看護学研究科看護学専攻教授
NPO法人親子の未来を支える会 理事

赤い羽根共同基金事業協力
エキスパート



田端支普

訪問看護ステーション
ハートフリーやすらぎ
管理者

赤い羽根共同基金事業協力
エキスパート



本田和也

国立病院機構長崎医療センター
脳神経外科・教育センター
副看護師長/診療看護師 (NP)
九州大学大学院医療経営学管理学専攻 大学院生



水越真代

健康企業推進サポート
シャイニングライフ
代表



安田愛美

株式会社メディキッズ
代表取締役

赤い羽根共同基金事業協力
エキスパート



山本則子

東京大学大学院
教授

<ご相談者の声>

“これまで関心を持っている領域への進学やジョブチェンジをされたご経験を聞ける機会はなかったが、目標にしたいロールモデルとして大変参考になり今後のモチベーションにもなった。”

<ご相談を受けられた方の声>

“自己の経験やキャリアが同じ様な岐路に立ち悩んでいる人の助けに少しでもなれる可能性のある機会となった”

メディア掲載

NfNでは下記の看護系雑誌に紹介記事を掲載していただきました。

- ・ メディカ出版様「メディカ LIBRARY」、全3回のNfN連載「看護とキャリアと社会課題~全部つながる Nurse for Nurse」記事掲載
- ・ メヂカルフレンド社様『看護展望』11月号、NfN代表門元のインタビュー「多様な看護職がつながり助け合える場や機会を提供する」記事掲載
- ・ 日本看護協会出版会様『コミュニティケア』5月号、「重症児・家族への理解に向けた看護職による見学プログラム」取材記事掲載
- ・ へるす出版様『小児看護』6月号、「医療的ケア児・重症心身障害児の生活を地域で支える看護職のキャリア開発支援」記事掲載

特集 小児プライマリケア領域で求められる看護の専門性

関連論稿

医療的ケア児・重症心身障害児の生活を地域で支える看護職のキャリア開発支援

門元記子
Kadomoto Noriko
一般社団法人 Nurse for Nurse 代表、看護師、保健師

Key word

- 医療的ケア児
- 重症心身障害児
- キャリア開発支援
- 看看連携
- 小児看護

はじめに

2021年9月、一般社団法人 Nurse for Nurse (以下、NfN)は看護職のための看護職によるキャリア開発支援を通してローカルおよびグローバルな課題解決を目指すために設立された。NfNの設立には二つの背景がある。一つ目は社会的背景である。近年の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、社会における看護職に対するニーズは日々刻々と変化してきた。また、少子高齢化

たは自分自身の病気や障害と向き合いながら働く/働きたい看護職も増えてくる。また、人生100年時代になり、ブランチ・ナースとして定年退職後の活躍の場を探す看護職も増えることが考えられる。そこで、よりよいケアを継続的に提供し、さまざまな社会課題を解決するためには看護職同士がキャリア開発において、互いに気軽に助け合える持続可能なシステムが必要不可欠であると考えたのがNurse for Nurse 発足の発端である。

二つ目は個人的なものである。ちょうど新型コロナウイルス感染症によるパンデミックと自身の複雑な希望

Interview

門元 記子

一般社団法人 Nurse for Nurse 代表理事

多様な看護職が
つながり
助け合える場や
機会を提供する

学びかたを学ぶ、選択肢を増やす

メディカ LIBRARY

すべての記事 | 人気ランキング

トップ > シリーズ記事 > Nurse for Nurse

Nurse for Nurse
Connect and Discover

看護とキャリアと社会課題

全部つながるNurse for Nurse

並び替え: 新着順 | 人気順

3件中 1~3件を表示

#003 社会課題解決に向けた
#002 現在の活動

訪問看護、介護・福祉施設のケアに携わる人へ

コミュニティケア

COMMUNITY CARE

May 2023
Volume 25/Number 5

第1特集
看護師が提案する
「高齢者向け住まい」

第2特集
高齢者の転倒を防ぐ

ISSN 2758-0008
創刊号第1号 創刊2003年
2003年4月創刊(改題) 創刊2003年4月
2000年3月10日創刊(改題) 創刊2000年3月
日本看護協会出版会

セミナー

NfNではまさに「Nurse for Nurse」の名の通り、看護職のための看護職によるセミナーを実施しています。コンセプトは会員である看護職の方を講師としてお招きし、他の看護職のキャリア開発において有益と考えられる内容のセミナーをお届けしています。



2022年12月、「デンマーク在住、コーチになった看護職によるコーチングスキルの伝授～教育担当、実習担当必見!」と題して、石橋明子さんのこれまでのキャリアのご紹介に始まり、コーチングの基礎から応用に向けたスキルの伝授をしていただきました。

2023年6月、第2回セミナー「話題のAIツールを活用して最新の学術的知見にふれよう～現場のお困りごと解決へのヒントをさがす～」を開催しました。本セミナーでは、森岡典子さん（東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科ヘルスサービスリサーチ看護学 准教授）のこれまでのキャリアのご紹介に始まり、下記のような内容でご発表いただきました。



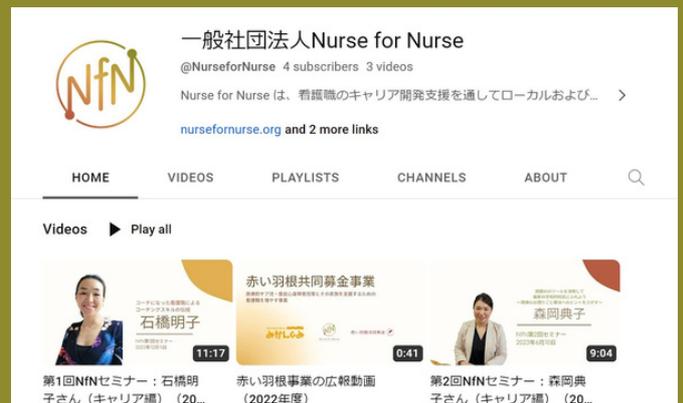
- EBPNとAIツールの活用-概要
- AIツールを活用したEBPNの実践
- 検索・要約
- 論文ななめ読み術
- 臨床適用・評価に向けて

*NfNのセミナーおよびイベントのアーカイブ動画は会員サイトにてご覧いただけます。

Youtubeチャンネル

NfNではセミナーの講師の方々に冒頭で、それぞれのキャリアについてご発表いただいています。その「キャリア編」は2023年3月に開設しましたYoutubeチャンネル (@NurseforNurse) にて配信しています。

このチャンネルでは看護職の皆様のキャリア開発の一助となるような情報、NfNの活動について配信しておりますので、是非、チャンネル登録をお願い致します！



講演

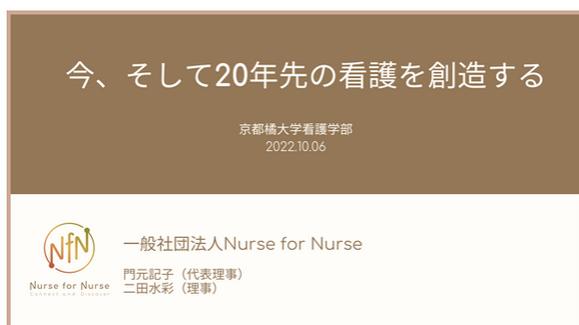
NfNでは、講演として、活動を通して得られた知見等の共有、社会への発信を行っています。

2023年8月25-26日に開催されました、**第27回日本看護管理学会学術集会**のパネルディスカッション「看護管理者のキャリア開発支援」にNfN理事の二田水が登壇いたしました。当日は300名ほどの定員がほぼ満席という活気あふれる中、「看護管理者が活かせるキャリア開発支援プラットフォーム」と題した発表をいたしました。



講義

NfNでは看護大学の学生向けに看護職の仕事やその活躍の幅の広さについてお話する場をいただきました。



2022年10月：NfN代表理事の門元と理事の二田水が京都橘大学看護学部の4年生を対象とした「看護創造論II」という授業に登壇いたしました。

本授業のテーマは「20年先、時代予測と求められる看護を踏まえ、看護の働き方をイノベーションする」ということで、NfNでは「今、そして20年先の看護を創造する」と題したお話をさせていただきました。

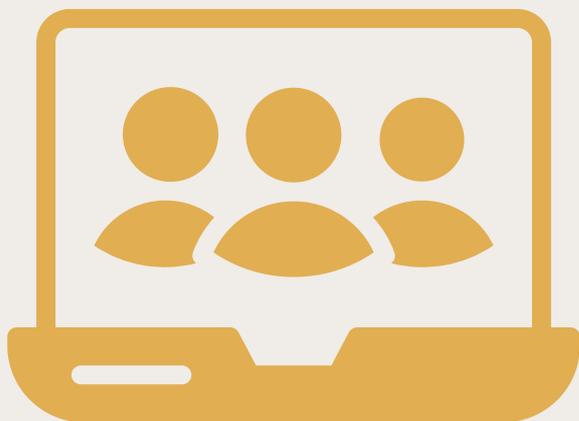


2023年5月：NfN代表理事の門元が大手前大学国際看護学部の「キャリアプランニングII」の授業にゲストスピーカーとして登壇しました。授業では門元自身がこれまでの経験を踏まえてキャリア形成において大事だと思うことについてお話しさせていただきました。

グループワークでは、それぞれが「大事だと思うこと」を深めていただき数グループに発表していただきました。学生からは「自分の意思」「失敗を恐れない」「多職種連携」「コミュニケーション能力」「協調性」「挑戦をやめないこと」「財力」などが大事なこととして挙がりました。

学生の感想

- 「今回の講義を通して、これまでの社会情勢の変化やこれから先の時代の変遷とともに看護における在り方や看護に求められるニーズ等が変化していくことを学習することができた。まだまだ具体的な形で自身の看護キャリアについて想像することは容易ではないが、今回の講義を機に自身のキャリアについて考えていこうと思うことができた。」
- 「今まで卒業後はただ病院で働き一生過ごすのだと信じていたが、働き方は自由で現在は名前のついていない、新しいことを始めることも考えてみようと思った。」



NfNへのコメント

「NfNでは、事業を通してローカルやグローバルな課題解決を目指されており、看護職個人個人のキャリア開発が地域や世界全体の価値につながるということを感じた。」

ポッドキャスト



ポッドキャスト Nurses Change the World では、様々な看護領域でご活躍されている看護職の方々をゲストとしてお招きしています。そして、そのお仕事や取り組み内容、魅力、どのような形で社会の課題解決に挑戦されているか等を伺っています。2022年2月に開始し、現在全8エピソードあります。

Episode 5

地域の実情を見て、子どもたちが
生きやすい社会づくりを目指す
Part 1



&



Noriko Kadomoto
Nurse for Nurse代表理事

Chiaki Kitamura
清泉女学院大学看護学研究科
小児看護学准教授



Nurse for Nurse
Connect and Discover

Episode 6

産科が少ない沖縄県北部で
開業した助産師の挑戦
Part 1



&



Takashi Kawazoe
Nurse for Nurse理事

Hiroe Koyanagi
やんばる希望ヶ丘助産院



Nurse for Nurse
Connect and Discover

赤い羽根共同募金事業

2022年6月～2023年3月まで、NfNでは赤い羽根共同募金の助成金による「医療的ケア児・重症心身障害児等とその家族を支援するための看護職を増やす事業」を当事者団体である特定非営利活動法人みかんぐみ様より業務委託を受け実施しました。本事業はこの領域での看護職のキャリアを考えるウェビナーやキャリア相談、見学プログラムにて構成されました。

ウェビナー

「集まれ!看護職たち 医療的ケア児・重症心身障害児の暮らしを支える×看護職のキャリア」



集まれ!看護職たち
医療的ケア児・重症心身障害児の暮らしを支える × 看護職のキャリア

11月13日(日) 15:00～17:00 (ZOOMウェビナー配信)

本事業は当事者団体であるNPO法人みかんぐみと看護職のキャリア開発を支援する一般社団法人Nurse for Nurseが医療的ケア児・重症心身障害児のケアの担い手である看護職を増やすために「赤い羽根 新型コロナ感染下の福祉活動応援全国キャンペーン 重症児等とその家族に対する支援活動助成金」を受け活動しています。

参加費無料・お申込み締め切り：11月11日(金) 正午

どなたでもご参加いただけます (事前登録制) [お申込みはこちら](#)

オープニング

- ・一般社団法人Nurse for Nurse
 - ・NPO法人みかんぐみ
- 「看護職に対して感じていること、これから期待すること」(NPO法人みかんぐみ/ご家族)

シンポジウム「医療的ケア児・重症ケアにあたる看護職のキャリア」

- 座長：北村千章 (清泉女学院大学大学院看護学専攻准教授/看護師・助産師)
- ・医療的ケア児を支えるために必要な連携 (千野由麻/看護師・保健師)
 - ・医療的ケア児を地域で支える看護職のやりがい (富岡由紀子/看護師)
 - ・行政保健師による保育所における医療的ケア児とその家族への支援 (徳永奈津子/看護師・保健師)
 - ・医療的ケア児・おうちの暮らし (高野典子/看護師)



お問い合わせ先：info@nurseforurse.org (NfN事務局)

本ウェビナーは全国から200名を超える方々にお申込みいただき、期間限定で配信したアーカイブ動画の視聴回数は1,000回を超えました。

本ウェビナーでは医療的ケア児当事者ご家族、保育所・学校・地域・在宅等で活躍する看護職からお話を伺い、1人でも多くの看護職に本領域でキャリアを歩む具体的なイメージがわくようになることを目的に実施しました。

ウェビナー後のアンケートでは、看護職の方への質問として「本ウェビナーを通して本領域での看護職のキャリアについて、具体的なイメージが持てるようになりましたか?」と聞いたところ、アンケートに回答した看護職 (N=54) のうち、26名 (48.1%)、約半数が「持てるようになった」と回答しました。

本ウェビナーの実践報告は第28回聖路加看護学会学術集会にて演題発表を行います。

見学プログラム

本プログラムでは全国から募集しました看護職4名に対して医療的ケア児・重症心身障害児の生活の場を見学し理解を深めることを目的としたご家庭への見学訪問の機会を提供しました。

全国各地からご参加された看護職の皆様は訪問看護師、行政保健師、小児科病棟の看護師など背景やこれまでの経験も様々でした。見学訪問ではお子様がおやつを食べる様子、リハビリに励むところ、保護者や訪問看護師からケアを受ける様子、兄弟との関わりなど、それぞれのご家庭での日常生活の一コマを見学しながらご家族とお話することができました。



交流会・Meet Up

NfNではConnect and Discoverをコンセプトに、会員同士がつながれる場を交流会として定期的に提供しています。2023年4月には会員に限らず、看護職同士が交流できるMeet Upを開催しました。



Meet Upでは、それぞれの自己紹介を「実は…」から始めていただいたり、24時間以内にご自身に起こったGood & Newをご紹介いただいたり、楽しい交流の幕開けとなりました。

会中のグループワークでは、お互いにこれまでのキャリアの歩みを紹介したり、そのなかでの悩みを共有し共感し合ったりと、同じ看護職ということで、活動する分野は違ってもつながる部分がたくさんあることに気づきました。

来期に向けて

Nurse for Nurseは看護職同士がつながり、キャリア開発において助け合うことをミッションとして活動しております。

今期は交流会やMeet Upなど様々な活動を通して多くの看護職の方々につながることができました。NfN初の対面イベントとなったMeet Upでは英治出版様に会場をご提供いただきましたが、看護界以外からも看護職同士がつながれるよう、多大なご支援をいただきました。これからはミッションを大切により多くの看護職がつながれる機会を提供して参ります。

来期は、今期に引き続き学会での発表（第27回聖路加看護学会学術集会）や交流集会（第43回日本看護科学学会学術集会）への参加を予定しています。活動を通して得られた知見等を共有しながら、社会に対して看護職の活躍をこれからも発信して参りたいと思います。

また、2022年度に引き続き、特定非営利活動法人みかんぐみ様より業務委託いただいた赤い羽根共同募金事業も実施いたします。全国で医療的ケア児支援センターの整備やサービスの拡充が進むなか、当事者ご家族とケアの担い手である／なり得る看護職の相互理解が今後益々重要になると考えます。そこで、当事者ご家族と看護職の交流会および調査研究を実施いたします。ご協力いただけますと幸いです。

看護職のキャリア開発支援事業を通して社会課題解決がNfNの掲げる目標です。是非、来期も皆様のお力添えをいただきながら、いただいた機会一つひとつを大切に事業に邁進して参りたいと思います。

何卒よろしくお願い申し上げます。

nursefornurse.org



Nurse for Nurse
Connect and Discover



一般社団法人Nurse for Nurseは
持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています

3 すべての人に
健康と福祉を



5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も

